

## ミラノ万博会場にて石川県をPR

氏名：山田 外美代 職業： 都道府県：愛知県

5月1日 ミラノ万博がイタリアミラノ市郊外において開幕しました。

私は日本館サポーターとして日本館の開館式に出席しました。

（右上段；日本館の開館式／右下段；参観の様子（イベント広場にて））

その後、出席者がパビリオンを参観しましたが、私には2社のメディアが同行しました（共同通信社発信の記事が全国紙に掲載されました）（[掲載記事](#)）。

途中日本館には全国各地の食にかかわる展示がありますが、石川県にかかわるものもあり、いしかわ観光特使としてももちろんPRさせていただきました。



### <奥能登「あえのこと」紹介展示>



### <日本館出口にて来場者にPR>



会場には多くの来場者がおみえになりますが、私も石川県の魅力を来場者だけでなく他のパビリオンのスタッフにも伝えさせていただきました。

パビリオンスタッフの多くは日本に住んだことがあったり、日本に来たり、日本の事柄には関心があり私の話には特に興味を持っていただきました。

### <スタッフにもPR>



今回の万博のテーマは、「地球に食料を、生命にエネルギーを」で、食の万博といえます。

石川県には先人の智恵と技が息づく「食」が豊富にあります。今後も石川県の魅力を万博会場で発信していけたらと思っています。

## 愛知の「万博おばあさん」、ミラノ万博に登場

2015年5月2日

### 日本館をPR「食文化を世界の人々に知ってほしい」

愛知県や中国・上海、韓国・麗水で開催された国際博覧会(万博)に毎日通い続け、「万博おばあさん」の愛称で知られる愛知県瀬戸市の主婦、山田外美代さん(66)が1日、「食」をテーマにイタリア北部ミラノで同日開幕した万博に来場した。

山田さんはミラノ万博ではPRを担う「日本館サポーター」に就任。来場者や参加国の関係者らとの触れ合いを通じ、「たくさんの知恵が詰まった日本の食文化を世界の人に知ってもらいたい」と意気込んでいる。

開幕初日、「共存する多様性」がテーマの日本館を夫や息子とともに見学。世界では多くの人々が飢餓に苦しむ一方、肥満が深刻な問題となっており、山田さんは「食の不均衡に対し、日本は何を発信できるのか、ミラノ万博はどのような結論が出せるのかに関心がある」と話した。(共同)



1日、イタリア・ミラノ万博の「日本館」で、パフォーマーと並んでポーズを取る山田外美代さん(中央)(共同)



世界各地の万博に毎日通い、「万博おばあちゃん」として親しまれる愛知県瀬戸市の山田外美代さん(66)が、1日に開幕したイタリア・ミラノ万博に

### 「万博おばあちゃん」ミラノで始動

登場した。手始めに自身がサポーターを務める日本館を見学し、「お米一つとっても使い道の豊かさがある」と日本人の食に関する知恵を発信したいと語った。

花柄のワンピースにうぐいす色のジャケット、紫の帽子でおしゃれした山田さんはまず入り口で日本館のスタッフにあいさつ。館内に入ると早速記念スタンプを取得し、「やりましたー」とにっこり笑った。(ミラノ＝山尾有紀恵)

日本館で記念のスタンプを押す山田さん

「日本の食 発信したい」